

279 「始まり」

こんにちは。塾長の大井です。

TOPの伝説と言ってもいい2月全勝・御三家全勝(桜蔭・雙葉・雙葉)を成し遂げた8期生に続き、2023年春に3人が御三家中合格を果たした9期生の受験戦記を今回から綴ろうと思います。

こちら第一志望全勝した、記憶に新しい今春の11期生の戦記とどちらを書こうか迷ったのですが、クラスの人数や共通点が数多くあることなどから、今年の小6である12期生の合格に少しでも後押しになるよう、9期生を選びました。彼らの合格への歩みの記録と記憶を振り返ることで、また新たなTOPの合格の花が大きく咲き誇ることを心から願ってこの受験戦記を記します。

9期生との出逢いは、まずは3年生の体験授業でNさんとKくんが最初でした。(時はまだコロナ禍の前年のことです。)

Nさんは最初の初回の国語体験授業からすばらしい反応を見せ、この1回でこの子はTOPの国語で大きく伸びると確信しました。自分の考えをはっきり発表し説明することができ、とても人懐っこい女の子で

した。

Kくんもとにかく元気な男の子で、TOPの授業をととても楽しそうに受けていました。素直でまず自分の中に容れてみるのがKくんのいい所で、これは育てればおもしろいかもと感じました。

(この、まずは真似る、前向きに容れてみる、というメンタリティーは合格にととても大切な資質です。)

一方、算数体験授業をやった後の田宮は、「かなり小さい学年かも・・・」という感想でした。ただ、毎年最初は苦しい学力から育てて育てて御三家に受かり続けてきたTOPです。「まあそれを育てるんだけどな～」と結局私たちの常に漏れず、2人とも前向きに受け止めました。必ずいいクラスにする。絶対に幸せな受験をさせる。それがいつも私たちの始まりです。

さらに10月にはRくんが加わりました。Rくんはおもしろくてたまらない！という表情で顔全体で笑う子でした。やや引っ込み思案なところもありましたが、ツボが浅くすぐに笑い、優しい性格でみんなに愛されていました。

Rくんの加入もあり、例年通りこれまた個性的なクラスになるだろう

なと感じました。

クラスのメンバーや空気は良くも悪くもお子さんたちの成長と合格に大きく影響します。お互いに足を引っ張ってしまうこともあれば、とてつもない相乗効果で飛躍することもあります。9期生に抱いた「個性豊かな子たち」という想いは、さらに新たな出逢いで加速することになります。

(第2回につづく)

2025年4月25日

大井 雄之